

塚本まこと子 つかもと まこと 歌人、女子教育家。天保十四年八月八日近江國生れ、昭和三年一月四日歿（八四二―一九一八）。本名まこと、佐と子とも署した。幼名やまこ、變名中村八重子。近江商人紅屋の五女。文久二年中村原こぎ迎へて婚す。中年より和歌を志し、初め三角有紀、次いで服部春樹、小出繁、須川信行、下田歌子等に添削を請ふ。大正八年淡海女子實務學校を創設、七十七歳にして自ら校長となり、教育の事に當つた。（校名は杉浦重剛の命名、のち十四年下田歌子に移管して淡海實踐女學校と改稱、翌年淡海高等女學校に昇格）。

著述は、家政心得「姉（の）錢別」（明治二十三年）。歌集「月の影」全二冊（昭和五年四月序、京都・塚本家藏版）、「若のわか葉」全二冊。また實姉村田ゆきの傳記を併載した、塚本源三郎撰「紅屋二媪」（昭和十年五月）、「白滋賀・塚本源三郎刊」がある。

